

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【公表番号】特表 2007-517142 (P2007-517142A)

【公表日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2007-024

【出願番号】特願 2006-546073 (P2006-546073)

【国際特許分類】

D 0 7 B 1/06 (2006.01)

B 6 0 C 9/00 (2006.01)

【F I】

D 0 7 B 1/06 A

B 6 0 C 9/00 M

B 6 0 C 9/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 19 日 (2007.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直径 d_1 の L 本 ($L = 1 \sim 4$) のワイヤからなる内側層 C_1 を有し、該内側層 C_1 が、ピッチ p_2 で螺旋状に一体巻回された直径 d_2 の M 本 ($M = 3 \sim 12$) の中間層 C_2 により包囲され、該中間層 C_2 が、ピッチ p_3 で螺旋状に一体巻回された直径 d_3 の N 本 ($N = 8 \sim 20$) の外側層 C_3 により包囲されている $L + M + N$ 構造の 3 層金属ケーブルにおいて、少なくとも 1 つのジエンエラストマーをベースとする架橋性ゴム配合物または架橋ゴム配合物で形成されたシースが、少なくとも前記中間層 C_2 を覆っていることを特徴とするケーブル。

【請求項 2】

前記ジエンエラストマーは、天然ゴム、合成ポリイソブレン、およびこれらのエラストマーの配合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項 1 記載のケーブル。

【請求項 3】

前記外側層 C_3 は飽和層であることを特徴とする請求項 1 記載のケーブル。

【請求項 4】

前記ゴムシースは更に内側層 C_1 を覆っていることを特徴とする請求項 1 記載のケーブル。

【請求項 5】

前記中間層 C_2 が 6 本または 7 本 ($M = 6$ または 7) のワイヤからなることを特徴とする請求項 1 記載のケーブル。

【請求項 6】

下記特徴 (d_1 、 d_2 、 d_3 、 p_2 および p_3 の単位は mm)、すなわち、

(i) $0.10 < d_1 < 0.28$

(ii) $0.10 < d_2 < 0.25$

(iii) $0.10 < d_3 < 0.25$

(iv) $M = 6$ または $M = 7$

(v) $5 < (d_1 + d_2) < p_2$ $p_3 < 5 < (d_1 + d_2 + d_3)$

(vi) 前記層 C 2、C 3 のワイヤは同じ捩り方向に巻回されていることを有することを特徴とする請求項 5 記載のケーブル。

【請求項 7】

下記関係、すなわち、

$$M = 6 \text{ の場合、 } 1.10 < (d_1 / d_2) < 1.40$$

$$M = 7 \text{ の場合、 } 1.40 < (d_1 / d_2) < 1.70$$

を満たすことを特徴とする請求項 6 記載のケーブル。

【請求項 8】

$p_2 = p_3$ であることを特徴とする請求項 6 記載のケーブル。

【請求項 9】

1 + M + N 構造を有しかつ内側層 C 1 が単一ワイヤにより形成されていることを特徴とする請求項 1 記載のケーブル。

【請求項 10】

1 + 6 + 12 構造であることを特徴とする請求項 9 記載のケーブル。

【請求項 11】

下記関係、すなわち、

$$0.18 < d_1 < 0.24$$

$$0.16 < d_2 \quad d_3 < 0.19$$

$$5 < p_2 \quad p_3 < 12$$

を有することを特徴とする請求項 5 記載のケーブル。

【請求項 12】

下記関係、すなわち、

$$0.18 < d_1 < 0.24$$

$$0.16 < d_2 \quad d_3 < 0.19$$

$$20 < p_2 \quad p_3 < 30$$

を有することを特徴とする請求項 5 記載のケーブル。